



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3521 URL <https://www.econach.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木隆太
問合せ先責任者 (役職名) 管理部 (氏名) 野村嘉之 TEL 03-6418-4391
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	903	46.0	36	—	33	—	△8	—
2023年3月期第2四半期	618	162.5	△59	—	△62	—	△61	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △8百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△0.31	—
2023年3月期第2四半期	△2.33	—

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,991	4,624	77.2
2023年3月期	6,108	4,632	75.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,624百万円 2023年3月期 4,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,860	32.2	150	—	145	—	60	17.5	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	26,466,366株	2023年3月期	26,466,366株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,393株	2023年3月期	8,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	26,457,973株	2023年3月期2Q	26,457,973株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人々の消費行動が活発になり、経済活動の正常化がさらに進展したものの、原材料価格の高騰や円安を背景とした物価上昇など経済動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯 新宿店」におきまして、当第2四半期連結累計期間の入館者数は前年同四半期と比べ4.4%増加し、15万7千7百人となりました。集客活動といたしましては、近年ブームとなっているサウナに関して、通常より高い温度に設定した高温サウナデーを設けるなど、サウナ関連イベントに引続き注力したほか、岩盤浴への集客イベントにも注力いたしました。8月には新宿店8周年を迎えるにあたり、館内を一部改装し新たなテナントとしてヘアサロン&ネイルサロン「pizzicato」と韓国エステサロン「Huamoa」の2店舗が新規オープンいたしました。以上のとおり、「テルマー湯 新宿店」におきましては、引続き好調な運営となりました。

また、東京都港区西麻布の賃貸用不動産として活用していた「エコナック西麻布ビル」の一部を都心型のサウナ・スパ施設に改装しておりましたが、2023年4月12日に「テルマー湯 西麻布店」として新たにオープンいたしました。豪華エジプト調の都心型サウナ・スパ施設で、「新宿店」に比べサウナに特に力を入れた施設となっております。当第2四半期連結累計期間の入館者数は4万7百人となりました。また、2023年6月2日には同施設と一体となっております宿泊施設「サウナ&キャビン テルマー湯 西麻布」がオープンいたしました。サウナ・スパ施設内でも朝までゆっくりとおくつろぎいただくことはできますが、宿泊施設をご利用のお客様はベッド付の個室に加えてサウナ・スパ施設もご利用いただくことができます。また、「テルマー湯 西麻布店」の周知のため、テレビの情報番組や雑誌等の各種メディアへの掲載にも注力いたしました。しかしながら、開業にかかる初期投資費用を計上していることや、客単価が想定よりも低くなったことから、「西麻布店」としては赤字スタートとなりましたが、「新宿店」が好調であったことから、温浴事業全体としては大幅な増収増益となりました。

その結果、温浴事業の売上高は前年同四半期に比べ47.5%増加し879,658千円、営業利益は91,374千円（前年同四半期は営業利益3,080千円）となりました。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有する「エコナック西麻布ビル」の住居部分の賃貸収益につきまして、継続して安定した収入を得ることができました。

その結果、不動産事業の売上高は前年同四半期に比べ5.6%増加し23,803千円、営業利益は6,809千円（前年同四半期は営業損失2,569千円）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ46.0%増加し903,461千円となりました。営業利益は36,097千円（前年同四半期は営業損失59,473千円）、経常利益は33,389千円（前年同四半期は経常損失62,924千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,239千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失61,758千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、貯蔵品の減少や有形固定資産の減少などにより前連結会計年度末と比較して116,830千円減少し、5,991,820千円となりました。

負債は、未払法人税等の減少や長期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して108,591千円減少し、1,367,348千円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少により前連結会計年度末と比較して8,239千円減少し、4,624,472千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、90,432千円増加し、1,099,826千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、221,527千円（前年同四半期は50,395千円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費の増加、未収消費税等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、74,954千円（前年同四半期は736,371千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、56,140千円（前年同四半期は56,700千円の使用）となりました。これは、長期

借入金の返済による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、温浴事業において、東京都新宿区歌舞伎町の温浴施設「テルマー湯 新宿店」の売上が、コロナウイルス感染症の影響がなくなり入館料等の値上げもあり大きく増加すると見込んでおりましたところ、物価高による個人消費の伸び悩み等により第2四半期連結累計期間において計画していた想定を下回ったために、今期計画を見直しました。

また、東京都港区西麻布の温浴施設「テルマー湯 西麻布店」におきましても、期初に想定していた客単価が想定よりも低くなったために今期計画を見直しました。

以上の理由により前回公表した業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,394	1,099,826
売掛金	61,218	74,727
商品	493	732
貯蔵品	39,175	1,374
その他	96,652	17,028
貸倒引当金	△2,207	△2,334
流動資産合計	1,204,726	1,191,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,517,153	2,558,609
機械装置及び運搬具（純額）	44,375	45,807
工具、器具及び備品（純額）	41,025	104,905
土地	1,834,794	1,834,794
建設仮勘定	215,538	—
有形固定資産合計	4,652,886	4,544,116
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	70	4,624
電話加入権	1,528	1,528
無形固定資産合計	85,044	89,598
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	167,602	168,351
貸倒引当金	△2,208	△2,201
投資その他の資産合計	165,994	166,749
固定資産合計	4,903,925	4,800,464
資産合計	6,108,651	5,991,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,098	32,823
1年内返済予定の長期借入金	150,948	193,622
未払金	151,757	135,726
未払法人税等	90,419	43,424
契約負債	7,479	9,149
前受金	2,843	4,826
賞与引当金	5,676	5,209
株主優待引当金	1,348	676
その他	42,557	47,649
流動負債合計	483,129	473,108
固定負債		
長期借入金	788,848	690,034
繰延税金負債	29,354	27,933
再評価に係る繰延税金負債	10,052	10,052
資産除去債務	160,761	161,646
長期預り金	3,793	4,573
固定負債合計	992,810	894,240
負債合計	1,475,939	1,367,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,235,309	4,235,309
利益剰余金	280,628	272,388
自己株式	△2,235	△2,235
株主資本合計	4,613,701	4,605,462
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	19,010	19,010
その他の包括利益累計額合計	19,010	19,010
純資産合計	4,632,711	4,624,472
負債純資産合計	6,108,651	5,991,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	618,788	903,461
売上原価	558,856	795,009
売上総利益	59,931	108,451
販売費及び一般管理費	119,404	72,354
営業利益又は営業損失(△)	△59,473	36,097
営業外収益		
受取利息	8	5
奨励金収入	1,000	—
受取手数料	411	608
固定資産賃貸料	384	384
補助金収入	—	897
その他	813	257
営業外収益合計	2,618	2,153
営業外費用		
支払利息	5,392	4,773
その他	675	87
営業外費用合計	6,068	4,861
経常利益又は経常損失(△)	△62,924	33,389
特別利益		
補助金収入	4,997	—
特別利益合計	4,997	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,926	33,389
法人税、住民税及び事業税	1,687	43,049
法人税等調整額	2,144	△1,420
法人税等合計	3,832	41,628
四半期純損失(△)	△61,758	△8,239
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,758	△8,239

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△61,758	△8,239
その他の包括利益		
土地再評価差額金	△1,153	—
その他の包括利益合計	△1,153	—
四半期包括利益	△62,912	△8,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,912	△8,239
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,926	33,389
減価償却費	100,907	152,377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,791	119
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,166	△467
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△378	△672
受取利息及び受取配当金	△8	△5
補助金収入	△4,997	—
支払利息	5,392	4,773
売上債権の増減額(△は増加)	△16,480	△13,508
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,032	37,561
仕入債務の増減額(△は減少)	8,980	2,725
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,524	△3,979
未収消費税等の増減額(△は増加)	△25,284	60,058
長期預り金の増減額(△は減少)	△38,169	780
その他の資産の増減額(△は増加)	5,451	17,907
その他の負債の増減額(△は減少)	17,003	24,469
その他	0	40
小計	△11,690	315,569
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△5,310	△4,003
補助金の受取額	4,997	—
法人税等の支払額	△38,399	△90,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,395	221,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△721,724	△70,019
無形固定資産の取得による支出	△14,647	△5,072
その他	—	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△736,371	△74,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△56,700	△56,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,700	△56,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△843,466	90,432
現金及び現金同等物の期首残高	1,931,013	1,009,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,087,546	1,099,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年6月29日開催の定時株主総会決議に基づき、2022年8月2日付で減資の効力が発生し資本金443,874千円を減少し、その全額をその他資本剰余金へ振り替えております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が4,235,309千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

該当事項はありません。